ヒロハネム *Albizia julibrissin* Durazz Var. *glabrior* (Koidz.) Ohashi（マメ科）を長崎県佐世保市俵ヶ浦町（亀子島）で記録

川内野　善　治

Record the *Albizia julibrissin* Durazz. Var. *glabrior* (Koidz.) Ohashi in Sasebo, Nagasaki Prefecture Tawaragaura-cho (Camenocojima)

Yoshiharu KAWACHINO

長崎県生物学会誌　No.78, 2016　別刷

Reprinted from

Transactions of the Nagasaki Biological Society, No.78（2016）

Nagasaki, Japan

ヒロハネム *Albizia julibrissin* Durazz Var. *glabrior* (Koidz.) Ohashi（マメ科）を長崎県佐世保市俵ヶ浦町（亀子島）で記録

川内野　善　治[1)]

Record the *Albizia julibrissin* Durazz. Var. *glabrior* (Koidz.) Ohashi in Sasebo, Nagasaki Prefecture Tawaragaura-cho (Camenocojima)

Yoshiharu KAWACHINO[1)]

2015年５月17日に長崎県佐世保市俵ヶ浦町亀子島（E129.40.33　N33.07.47）で葉の広いネムノキが有るのに気付いた．蕾は沢山付いており，形はネムノキに似ていた．後日株数を調査した結果，幼木を含め22株（最大の株は胸高直径30㎝）が生育していた．念のために亀子島の周辺も探したが見つけられなかった．

６月13日には８分咲きとなったので，６月15日に中西弘樹長崎大学名誉教授に調査に同行して頂いた．その結果ヒロハネムであることがわかった．

表１はネムノキ属の部位の比較を行ったものである．但し，ネムノキと亀子島産ネムノキ属以外の小葉は「日本の野生植物，木本Ⅰ（平凡社　1999年）」による．

図１～図５に亀子島，葉，腺点，果実，花を掲載した．

「日本の野生植物，木本Ⅰ（平凡社　1999年）」によると国内での分布は熊本県天草・鹿児島県甑島に希と有る．

なお，熊本県では絶滅危惧ⅠA類（CR）に選定されており，苓北町（分布北限）と天草市（旧牛深市）の２カ所で生育が確認されている．生育個体数は20個体ほどと少なく，また一部は人為的な影響を受けやすい場所に生育しているため，今後注意が必要であるとされている．

鹿児島県大島郡喜界島町では町指定の天然記

表１　ネムノキ属部位の比較

小葉					花序の柄 花糸の色	腺点
ネムノキ						
長mm	幅mm	表面（毛）	裏面（毛）	数		
10-17	4-6	縁に毛	個体によって伏した軟毛を散生し、中肋上に毛	15-33	短毛を散生 通常ピンク	総葉柄の付け根近くにあり、楕円形
オオバネムノキ						
長mm	幅mm	表面（毛）	裏面（毛）	数		
20-40	8-15	伏した軟毛を散生	伏した軟毛を散生	9-15	無毛又は短毛を散生 通常白～淡黄色	
亀子島産ネムノキ属						
長mm	幅mm	表面（毛）	裏面（毛）	数		
15-19	4-8	伏した毛を散生(縁にも)	伏した軟毛。中肋上にもある	12-19	短毛を散生 淡いピンク	総葉柄の付け根から2㎝以上はなれており、円形で毛が生える
ヒロハネム						
長mm	幅mm	表面（毛）	裏面（毛）	数		
15-20	5-7				ピンク	

[1)]〒859-6405　長崎県佐世保市世知原町開作427-５

図1　亀子島

図2　葉

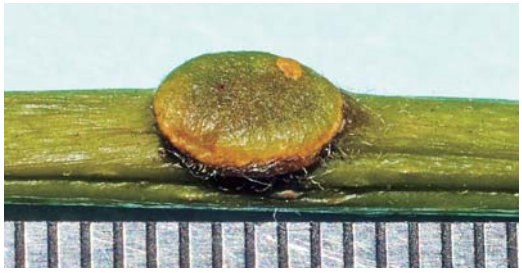

図3　腺点

図4　果実

図5　花

念物に指定されている．

謝　　辞

ヒロハネムの同定にあたって，中西弘樹長崎大学名誉教授には現地まで来て頂き，ご指導頂きました．深く感謝致します．

文　　献

佐竹義輔・亘理俊次・冨成忠夫・原寛　1999．日本の野生植物　木本Ⅰ．平凡社．

改訂・熊本県の保護上重要な野生動植物．レッドデータブックくまもと2009．維管束植物その１．熊本県ホームページ．

広報きかい№488．喜界町指定文化財．喜界町

中西弘樹　2015．長崎県植物誌．長崎新聞社